

製品名: CD158D マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82185**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	41.5kDa

抗原情報

遺伝子名	CD158D
別名	KIR2DL4; G9P; KIR103; KIR-2DL4; KIR103AS; KIR-103AS
遺伝子 ID	3805.0
SwissProt ID	Q99706
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD158D (AA: 余分な 22-120) の精製された組み換え断片。

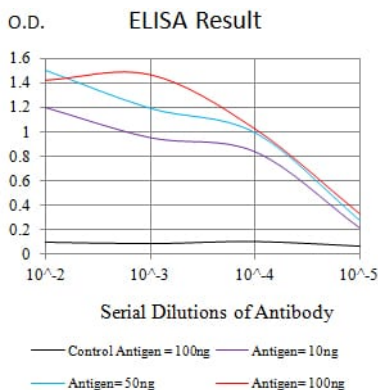
背景

キラー細胞免疫グロブリン様受容体（KIR）は、ナチュラルキラー細胞および T 細胞のサブセットによって発現する膜貫通型糖タンパク質です。KIR 遺伝子は多型性を有し、高い相同性を有し、1Mb の白血球受容体複合体（LRC）内の染色体 19q13.4 上のクラスター

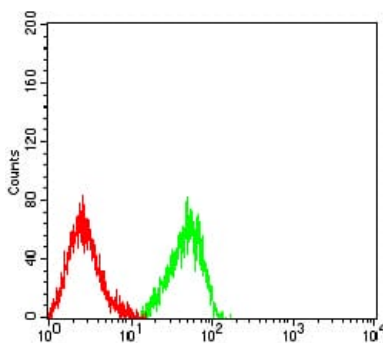
として存在します。KIR 遺伝子クラスターの遺伝子内容はハプロタイプによって異なりますが、いくつかの「フレームワーク」遺伝子 (KIR3DL3、KIR3DP1、KIR3DL4、KIR3DL2) はすべてのハプロタイプに存在します。KIR タンパク質は、細胞外免疫グロブリンドメインの数 (2D または 3D) と、細胞質ドメインが長い (L) か短い (S) かによって分類されます。長い細胞質ドメインを持つ KIR タンパク質は、免疫チロシン阻害モチーフ (ITIM) を介してリガンド結合時に阻害シグナルを伝達します。一方、短い細胞質ドメインを持つ KIR タンパク質は ITIM モチーフを持たず、代わりに TYRO タンパク質チロシンキナーゼ結合タンパク質と結合して活性化シグナルを伝達します。いくつかの KIR タンパク質のリガンドは HLA クラス I 分子のサブセットであるため、KIR タンパク質は免疫応答の調節において重要な役割を果たすと考えられています。この遺伝子は、すべてのハプロタイプに存在する「フレームワーク」遺伝子座の 1 つです。この遺伝子の代替アレルは、複数の代替参照遺伝子座 (ALT_REF_LOC) に存在します。選択的スプライシングによって複数の転写産物バリエーションが生じ、その一部は一次参照アセンブリにアノテーションされない場合があります。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD158D マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。